

——写真を撮り始めたきっかけは何ですか？

きっかけは飼っている犬ですね。2匹の犬を飼ってから、犬を飼う方々と知り合って、『犬友』ができました。そして、その内の一人の方がデジタル一眼レフで写真を撮り始めて、写真を見たら綺麗に写っていたんです。それに影響を受けて、周りの犬友さんが、「私も」「私も」とカメラを買って撮影をし始めて、その時に私もカメラを手にして撮り始めたんです。でも、しばらくはあまり撮らなかった。けど、3匹目を飼い始めて犬友さんに「blogを始めれば？」と一言をもらってから、再び写真を撮るようになりました。でも、最初の内はボケていたり、ブレていたりして、「なんなんだ、この写真は…」と、撮った写真に満足できなかったです。もっと上手くなりたくて地元の「女子カメラ部」や「ネイチャー系の写真教室」に通って写真を学び始めました。そうやって、写真と触れ合っている内に、自分の写真の撮り方が見えてきたんです。

Aboxでは写真を使っただけの自己表現を教えてくださいました。高崎先生のセミナーと出会って、「あっ！私のやりたい事はこれだ！！」と明確にできて、自分なりの作品にこだわっていきました。

私は絵が好きなので、カメラを使って絵のような表現がしたい。そして、その表現は出来るという事に気付いたんです。それから写真を撮るのが好きになりました。



「『White fairy in apple field』は知人のりんご畑での作品。
春はりんごの花が咲き誇り、秋にはりんごがたわわに実る。
作品は今後も増えていきますよ」

——粕谷さんは写真の展示を続けられてますよね。Abox展、3人展、そして今回の個展。

展示をし続ける理由は何でしょうか？途中でスランプは無かったですか？

写真を展示する事が好きなんです。撮影したものを紙に印刷して形にするというのが、私の中での写真なんです。印刷をしたら展示して見てもらいたいし、家に飾って見てもらう人に元気になってもらいたい。だけど、相手に元気になってもらうには、自分が元気じゃないといけないんです。

2020年2月に足の手術をした時は、元気がなくて、足も痛くて、外に出て写真を撮る気持ちになれなかった。その時はスランプでしたね。

でも私は写真を撮ると私自身が元気になるんです。だから、私は撮り続けるんです。